
9 品目別調査結果 ピーマン

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識
6. 調査のまとめ

1. 概況

349

調査結果概要（1/3）

1. 各取引段階の“量”の変化

出荷段階

- 福島県産夏秋ピーマンの作付面積と出荷量は、震災以降減少傾向にあったが、作付面積は平成28年度、出荷量は平成26年度以降は概ね横ばいとなっている。令和5年度は、それぞれ平成22年度の73.6%、74.8%となっている。

卸売段階

- 福島県産ピーマンは、主に首都圏で取り扱われている。非常に少量であるが関西圏にも流通している。北海道や名古屋といった地域にはほぼ流通していない。
- 東京都中央卸売市場において、福島県産ピーマンは主に7月～10月に出荷されており、市場シェアは3位となっている。特に、8月における市場シェアは年間で最大であり、17%を占めている。

350

2. 各取引段階の“価格”の変化

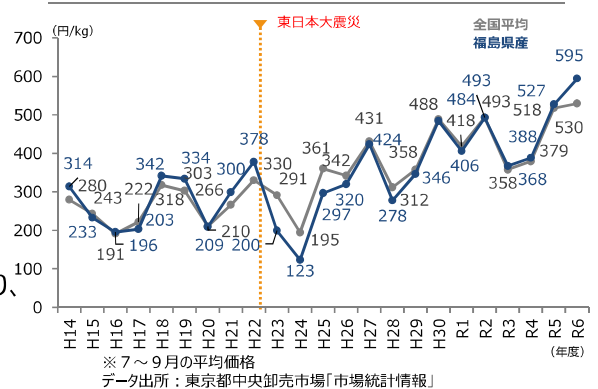
市場における状況

- 東京都中央卸売市場における福島県産ピーマンの価格は、震災後に全国平均を下回るようになった。
- 震災後4年間は、明確に全国平均よりも安い価格で推移していた。
- 平成29年度以降、全国平均に近い水準で推移しており、令和3年度以降は全国平均を上回っている。

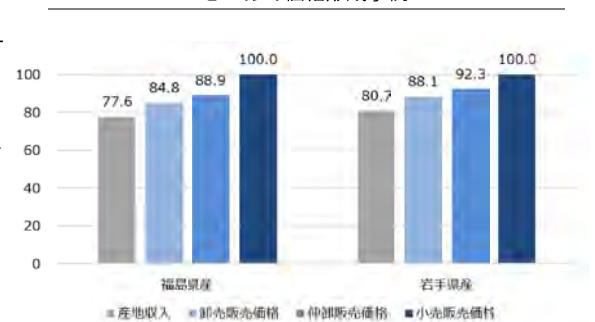
個別事例における状況

- 首都圏で福島県産ピーマンと岩手県産ピーマンを併売する小売業者に至る流通経路を対象に、流通段階ごとの取引価格を調査した。
- 福島県産と岩手県産の価格形成を比較すると、取引価格はすべての段階で近い値であった。
- 産地によって価格を変えると手間が生じるため、小売業者は産地が異なっても同一の価格を設定していた。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



ピーマンの価格形成事例



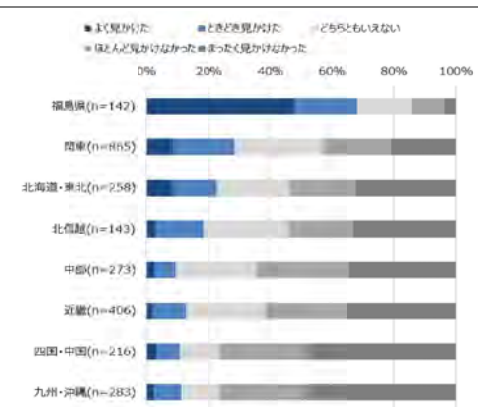
351

3. 福島県産品に対する認識

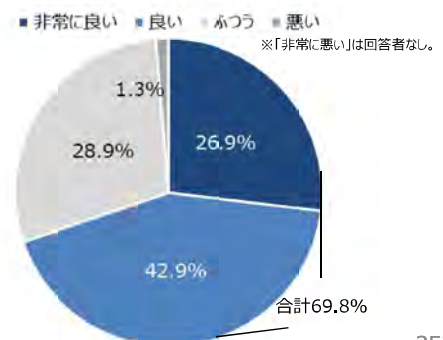
消費者への調査

- 福島県産ピーマンを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。
 - 福島県産ピーマンを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.5%であった。
- 福島県産ピーマンの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が69.8%であった。

福島県産ピーマンを店頭で見かけたか



福島県産ピーマン購入者の評価 (n= 301)



352

2. 調査実施概要

353

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産ピーマンの購入実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	- 統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。 - 市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。	消費者の福島県産品の購入実態や評価を把握する。	- ヒアリングにより取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。 - 競合県産品についても調査の上、比較分析を行う。
調査対象	- 政府統計 - 卸売市場データ - 農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」	全国の消費者（4,000人）	- 袋入りのピーマン - 福島県産以外に他県産も扱う事業者を対象に含める。
調査内容	- 福島県産ピーマンの出荷量 - 卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移 - 卸売市場における取引価格の競合県産品との比較	- 福島県産ピーマンを店頭で見かけた経験 - 福島県産ピーマンの購入経験 - ピーマン購入時の重視点 - 福島県産ピーマンの評価	流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。
各節との対応	各取引段階の“量”の変化 各取引段階の“価格”の変化	福島県産品に対する認識	各取引段階の“価格”の変化

354

各データを収集・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

概要調査
使用データ

- ・農林水産省「野菜生産出荷統計」
- ・首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ
- ・農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

アンケート
調査

- ・全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
 - 4,000件を回収し、分析を実施した。

追跡調査

- ・首都圏の小売業者へ流通するルート：2ルート
 - うち1ルートでは競合県産品の価格データも収集。
- ・福島県内の小売業者へ流通するルート：1ルート

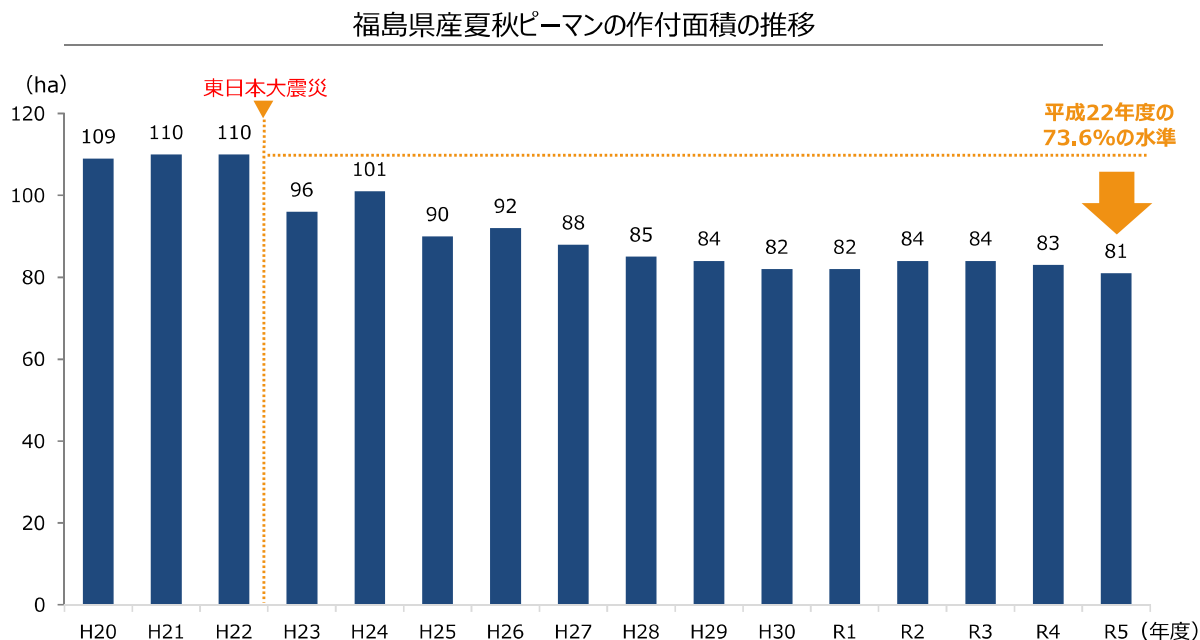
※追跡調査では個社が特定できないようにするとともに、実額を非公表とすることを前提に一部事業者から価格データを受領。

355

3. 各取引段階の“量”の変化

福島県産夏秋ピーマンの作付面積の推移

福島県産夏秋ピーマンの作付面積は、震災直後に約10%減少した。その後、一時的に増加した年があったものの、全体的に微減した後、平成28年度以降は、概ね横ばいで推移している。令和5年度の出荷量は、平成22年度の73.6%となっている。



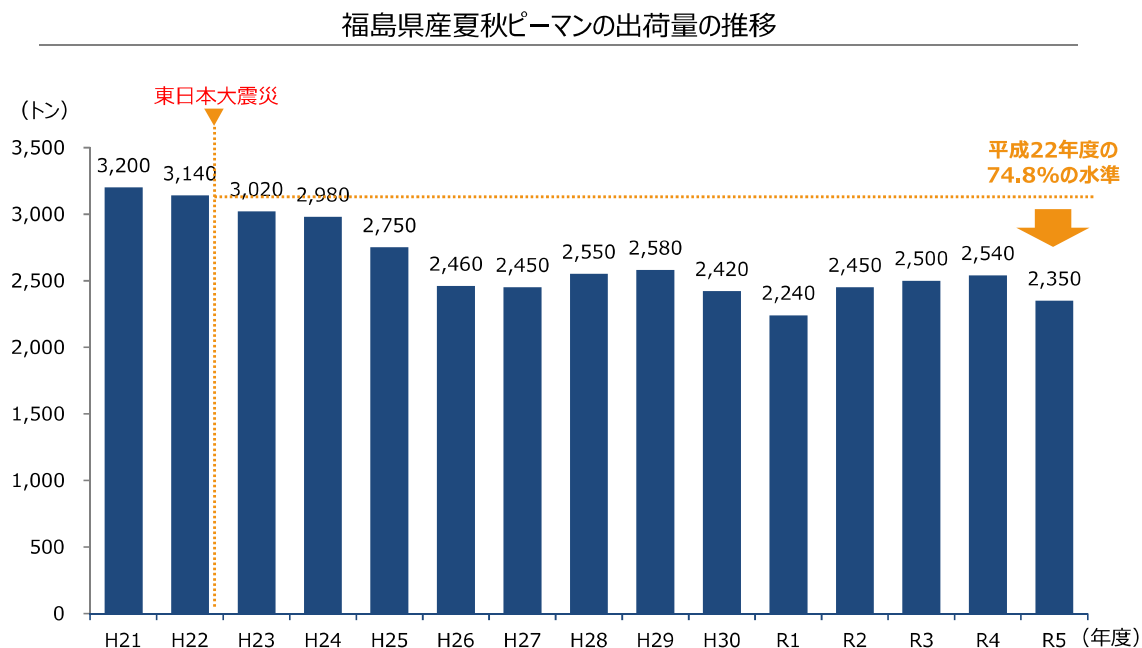
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

※夏秋ピーマン：主たる収穫・出荷期間が6月～10月

357

福島県産夏秋ピーマンの出荷量の推移

震災後、福島県産夏秋ピーマンの出荷量は減少傾向にあったが、平成26年度以降は、概ね横ばいで推移している。令和5年度の出荷量は、平成22年度の74.8%となっている。



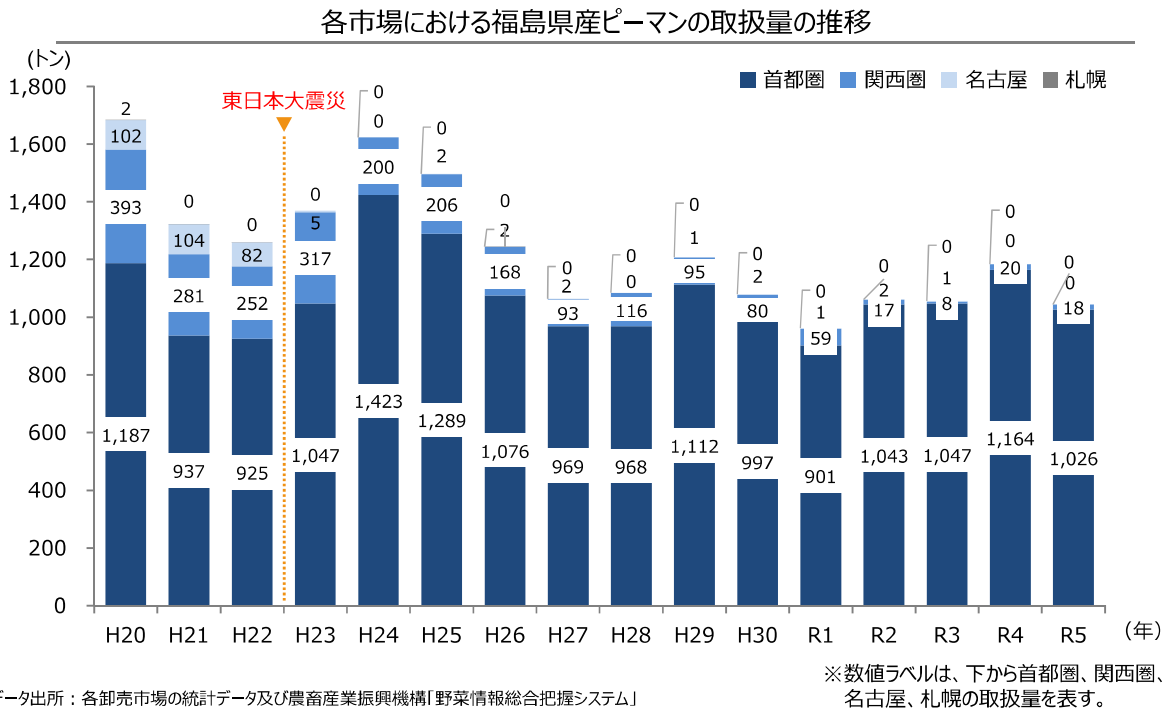
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

※夏秋ピーマン：主たる収穫・出荷期間が6月～10月

358

各市場における福島県産ピーマンの取扱量の推移

福島県産ピーマンは、主要地域の卸売市場の中では、主に首都圏で取り扱われており、少量ではあるが関西圏にも流通している。



359

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和5年産・首都圏)

東京都中央卸売市場において、7月～10月は福島県産ピーマンのシェアが3位だったが、その他の月での取扱いは僅かであった。横浜市中心卸売市場では、年間を通して福島県産ピーマンの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に色付け

東京都中央卸売市場													合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	17%	14%	6%	0%	0%	982	
茨城	10%	19%	39%	52%	62%	75%	44%	21%	39%	61%	57%	32%	11,534	
宮崎	53%	47%	33%	26%	21%	9%	2%	1%	0%	2%	22%	40%	4,929	
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	4%	37%	49%	37%	20%	3%	0%	3,241	
高知	19%	17%	14%	13%	11%	8%	1%	1%	1%	5%	10%	13%	2,274	
鹿児島	17%	15%	12%	8%	5%	2%	0%	0%	0%	1%	6%	14%	1,487	
総量	1,479	1,410	2,069	2,399	2,996	2,506	2,076	2,205	2,157	1,934	2,339	1,749		

横浜市中心卸売市場													合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	4%	4%	1%	0%	0%	44	
茨城	8%	15%	29%	35%	47%	67%	35%	10%	12%	28%	45%	24%	1,122	
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	7%	41%	60%	59%	42%	10%	0%	749	
高知	40%	34%	30%	25%	23%	18%	1%	0%	1%	11%	30%	33%	676	
鹿児島	44%	38%	34%	34%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	34%	587	
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	13%	15%	8%	0%	0%	152	
総量	207	197	301	310	415	324	357	382	356	274	276	255		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

360

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和5年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、福島県産ピーマンの取扱いは、年間を通して僅かであった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け													
大阪市中央卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
宮崎	61%	57%	52%	49%	48%	35%	9%	4%	3%	15%	52%	63%	2,076
高知	25%	25%	23%	26%	23%	19%	7%	3%	3%	14%	18%	22%	980
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	44%	34%	21%	3%	0%	776
茨城	0%	0%	7%	9%	15%	20%	9%	4%	10%	15%	10%	1%	551
大分	0%	0%	0%	0%	2%	17%	15%	11%	12%	11%	3%	0%	414
総量	340	273	442	477	631	568	607	679	549	459	584	441	

京都市中央卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	2%	0%	0%	0%	17
宮崎	60%	30%	20%	48%	53%	3%	5%	4%	4%	11%	8%	66%	646
大分	0%	0%	0%	0%	9%	64%	69%	10%	10%	33%	20%	0%	625
茨城	0%	7%	53%	16%	32%	26%	2%	11%	47%	28%	29%	1%	477
高知	26%	17%	16%	29%	3%	1%	2%	1%	3%	13%	37%	25%	324
兵庫	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	20%	15%	6%	0%	0%	103
総量	187	32	64	272	292	304	364	159	148	253	183	218	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

361

各市場におけるピーマンの産地リレー(令和5年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産ピーマンの取扱いは年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和5年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け													
名古屋市中央卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	57%	57%	53%	45%	40%	8%	0%	0%	0%	7%	38%	58%	1,633
茨城	0%	0%	2%	19%	23%	50%	35%	10%	34%	48%	23%	1%	1,150
宮崎	29%	29%	30%	24%	23%	20%	10%	7%	2%	5%	19%	27%	1,032
高知	14%	12%	14%	12%	14%	19%	11%	2%	2%	11%	18%	13%	653
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	27%	30%	26%	15%	0%	0%	402
総量	408	327	464	533	672	560	426	392	398	372	417	396	

札幌市中央卸売市場													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	68%	99%	100%	100%	95%	24%	0%	1,071
宮崎	90%	94%	92%	80%	54%	17%	1%	0%	0%	4%	64%	94%	816
茨城	0%	0%	1%	11%	36%	13%	0%	0%	0%	1%	2%	0%	106
高知	9%	5%	6%	8%	9%	3%	0%	0%	0%	0%	10%	6%	82
鹿児島	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
総量	135	99	150	194	160	163	248	274	236	182	132	106	

データ出所：各卸売市場の統計データ

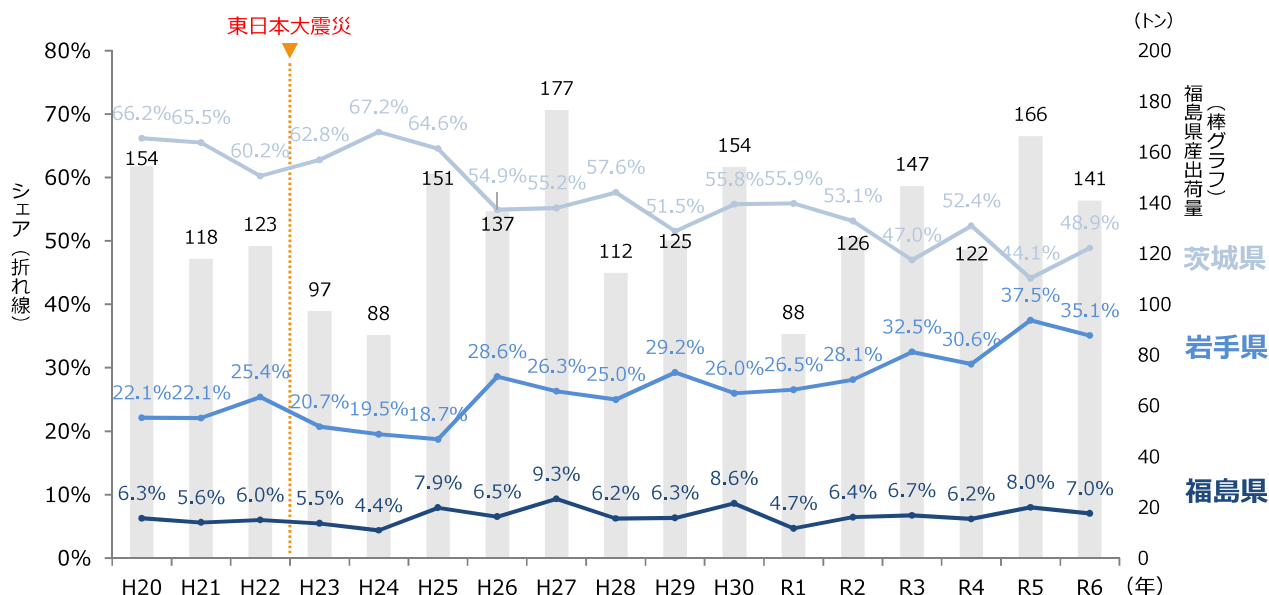
※福島県及び年間取扱量上位道県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

362

東京都中央卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(7月)

東京都中央卸売市場における7月の福島県産ピーマンのシェアは、震災前から大きく変動しておらず、7%前後で推移している。平成22年と比べ他県産については、茨城県産のシェアが48.9%と減少した一方、岩手県産のシェアが35.1%へ拡大した。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(7月)



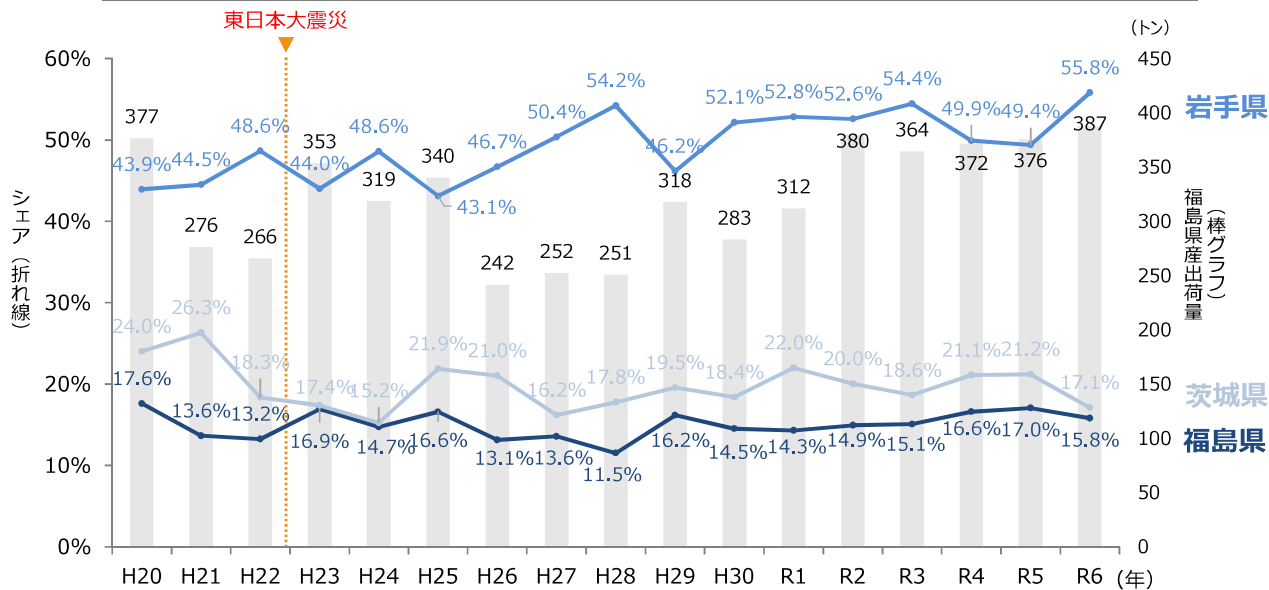
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

363

東京都中央卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(8月)

東京都中央卸売市場における8月の福島県産ピーマンのシェアは、震災前から大きく変動しておらず、15%前後で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(8月)



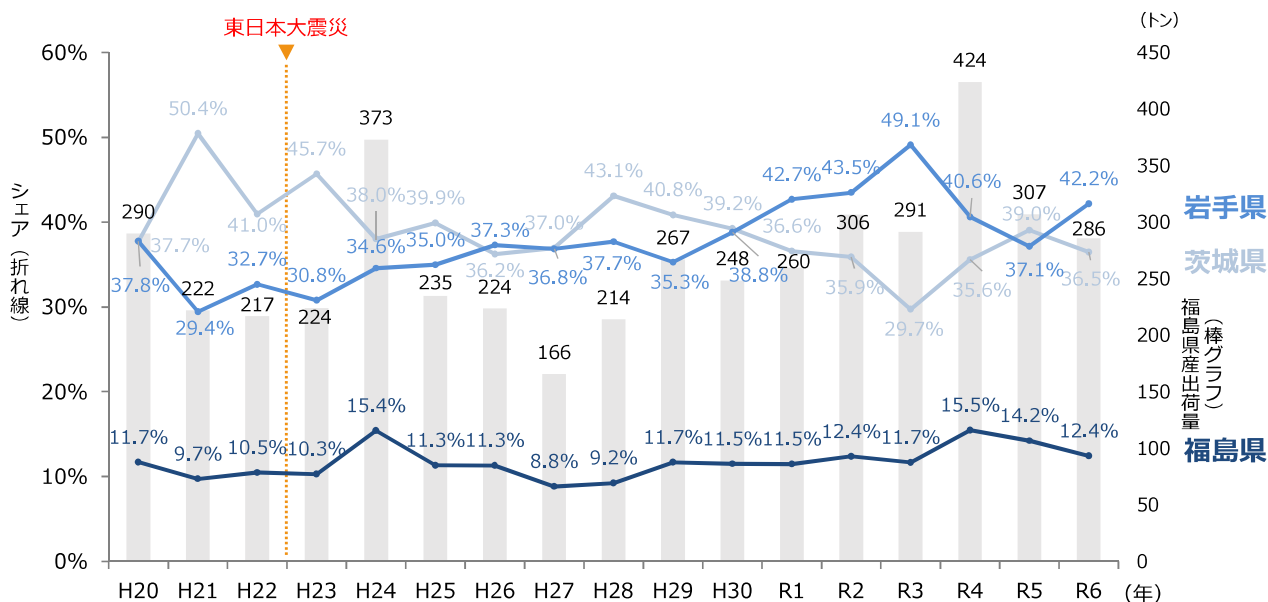
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

364

東京都中央卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(9月)

東京都中央卸売市場における9月の福島県産ピーマンのシェアは、震災前から大きく変動しておらず、12%前後で推移している。また、震災前から岩手県産・茨城県産のシェアが1～2位を占めている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(9月)



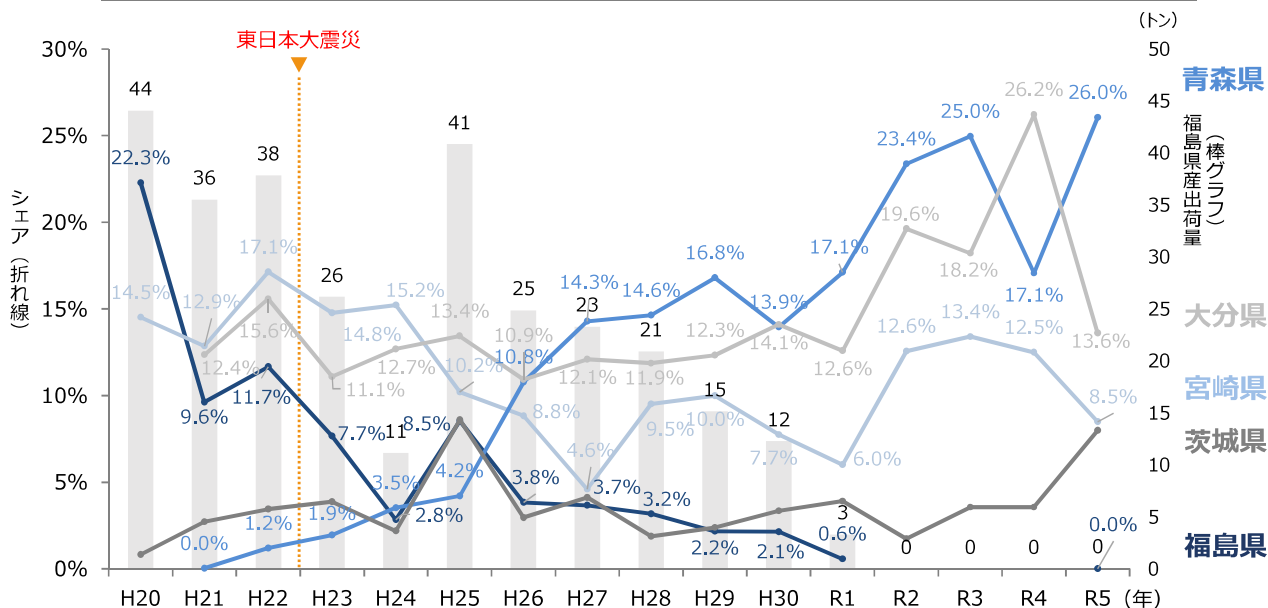
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

365

大阪市中央卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(7月)

大阪市中央卸売市場における7月の福島県産ピーマンのシェアは、震災以降減少が続き、令和2年以降の取扱いはなくなった。一方で、震災前は僅かしか出荷されていなかった青森県産が、平成26年以降シェア1～2位を占めるようになった。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(7月)



データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

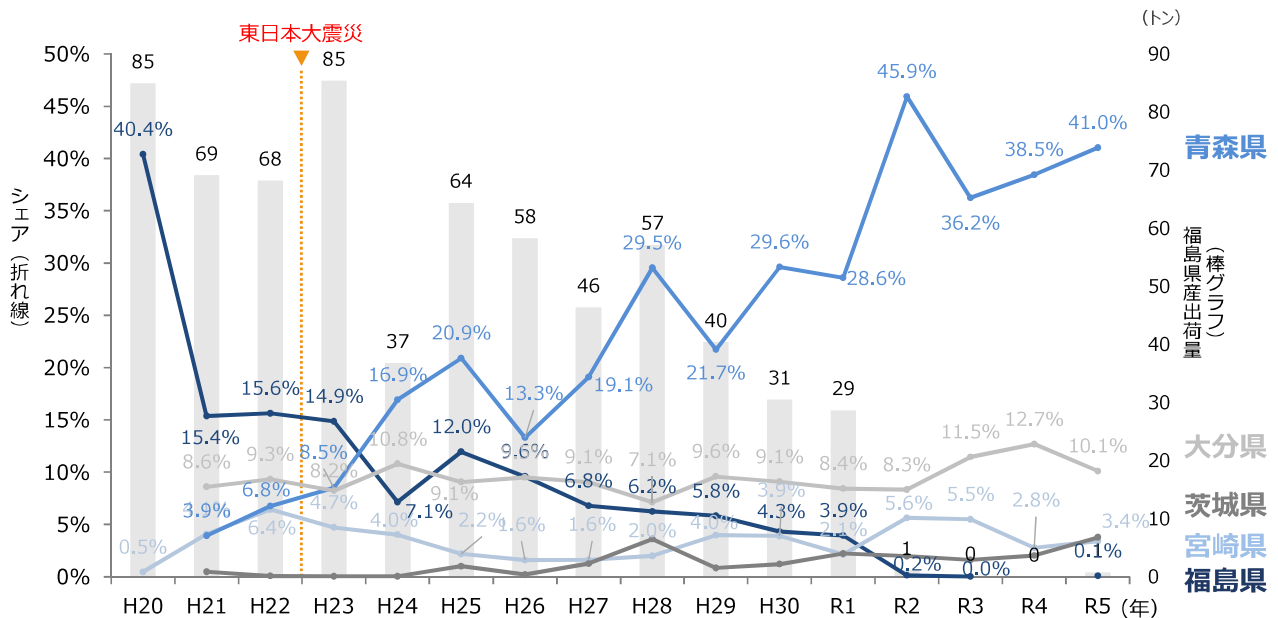
※グラフ上の数値は該当月のシェアトップ3の都道府県と福島県のみ記載（茨城県数値表示なし。）。

366

大阪市中心卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(8月)

大阪市中心卸売市場における8月の福島県産ピーマンのシェアは、震災以降、徐々に減少し、令和2年以降はほぼ取扱いがない。一方で、震災前は福島県産よりもシェアが低かった青森県産は平成24年以降シェアを大きく伸ばし、近年はシェア1位となっている。

大阪市中心卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(8月)



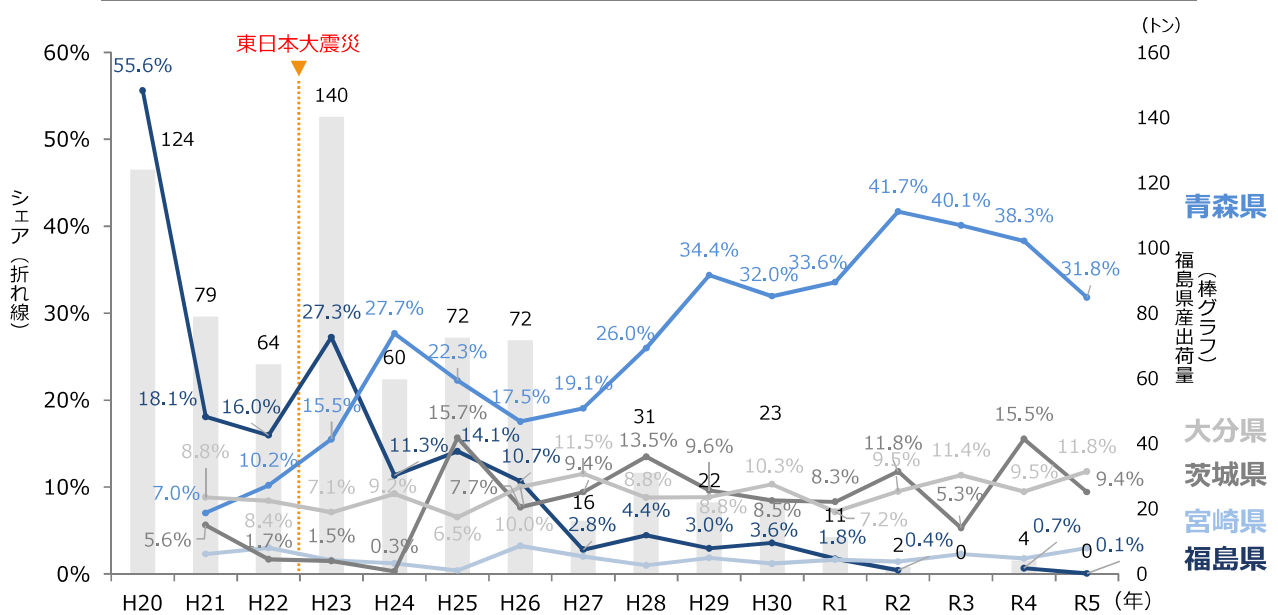
データ出所：大阪市中心卸売市場「市況情報」

※グラフ上の数値は該当月のシェアトップ3の都道府県と福島県のみ記載（茨城県数値表示なし。）。 367

大阪市中心卸売市場における福島県産ピーマンのシェアの推移(9月)

大阪市中心卸売市場における9月の福島県産ピーマンのシェアは、震災以降、徐々に減少し、近年ではほぼ取扱いがない。一方で、震災前は福島県産よりもシェアが低かった青森県産は平成24年以降シェアを大きく伸ばし、近年はシェア1位となっている。

大阪市中心卸売市場における福島県産及び競合県産のシェアと福島県産の出荷量(9月)



データ出所：大阪市中心卸売市場「市況情報」

※グラフ上の数値は該当月のシェアトップ3の都道府県と福島県のみ記載（宮崎県数値表示なし。）。 368